

名称 WEC (World Energy Conference)

日本語名 世界エネルギー委員会

親機関

住所 St. James's Street, London, SW1A 1HD.

国名 UNITED KINGDOM

電話 44-71-930-3966

ファックス 44-71-925-0452

---

1. タイプ：国際的協力機関

2. 地理的範囲：世界

3. 目的

WECは約90カ国からなる多形態のエネルギーを対象とした国際機関である。その目的とするところは、エネルギー及び関連問題を調査・研究し、分析、討論した上で、一般大衆やエネルギー関連の意思決定者に、意見、助言、勧告を行うことである。1924年に世界電力会議（World Power Conference）として電力業を対象として発足したが、1968年に世界エネルギー会議（World Energy Conference）と改称され、さらに1990年に世界エネルギー委員会（WEC）と改称された。対象とする問題としては、

- エネルギーと環境
- 各形態のエネルギー間の関連
- エネルギーと一般大衆
- エネルギー財政とエネルギーの経済的インパクト
- エネルギー保全と効率的利用
- エネルギーと消費者

WECは3年間のワーキング・プログラムを実施している。現在実施されているプロジェクトは以下のとおりである。

- エネルギー使用による大気汚染
- 2020年に向けた再生可能エネルギーの役割
- 電力の役割
- エネルギーと一般大衆
- エネルギープロジェクトと将来の財政
- 種々の工業化プロセスのエネルギーの最適利用
- 太陽エネルギー
- 燃料セル
- 石油代替品

4. データ管理：---

5. 協力関係

WECは他の国際機関と密接に連携をとり活動している。UN, UNESCO, 一部のUN地域委員会（regional commissions）と多くの国連専門機関の助言機関となっている。世界銀行/IBRD, OPEC, OIAPEC, OLADE（ラテンアメリカ）等とも協力して活動している。また世界石油会議（World Petroleum Congress）、世界鉱山会議（World Mining Congress）、国際ガス連合（International Gas Union）、UNIPED, ICOLD, CIGREの形態別エネルギーに関する国際機関との関連も深い。

## 6. 参考文献

WEC, An introduction to the World Energy Council, パンフレット.

WEC, Commission, Energy for Tomorrow's World, パンフレット.

WEC, 1991: Annual Report 1990, 45 p.

WEC, 1991: World Energy Council Journal.